



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月5日
東

上場会社名 カルビー株式会社 上場取引所
 コード番号 2229 URL http://www.calbee.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 伊藤 秀二
 問合せ先責任者 (役職名) 上級常務執行役員 (氏名) 菊地 耕一 (TEL) 03-5220-6222
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	187,022	0.2	20,441	6.5	20,840	7.3	15,019	14.9
2018年3月期第3四半期	186,691	△1.2	19,190	△13.7	19,426	△13.0	13,067	△9.3

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 15,146百万円(9.0%) 2018年3月期第3四半期 13,893百万円(△8.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	112.40	112.35
2018年3月期第3四半期	97.80	97.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	197,360	155,569	75.5
2018年3月期	192,034	146,667	72.6

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 148,980百万円 2018年3月期 139,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	42.00	42.00
2019年3月期	—	0.00	—		
2019年3月期(予想)				48.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	249,000	△1.0	26,900	0.3	27,000	3.1	19,000	9.6	142.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) - 、除外 1社(社名) Calbee-URC, Inc.
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	133,919,800株	2018年3月期	133,875,800株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	267,747株	2018年3月期	292,997株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	133,632,228株	2018年3月期3Q	133,611,015株

(注) 期末自己株式数には、信託が保有する自社の株式を含めております(2019年3月期第3四半期266,915株、2018年3月期292,165株)。また、同信託が保有する自社の株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております(2019年3月期第3四半期277,940株、2018年3月期第3四半期228,396株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 2 2019年3月期の1株当たり当期純利益は、予定期中平均株式数133,652,053株により算定しております。
- 3 当社は、2019年2月5日(火)に機関投資家・アナリスト向けの電話会議を開催する予定です。この電話会議の音声情報については、開催後当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(企業結合等関係)	12
(追加情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は、国内事業におけるスナック菓子の増収と、海外事業におけるシリアル食品およびスナック菓子の増収により、187,022百万円(前年同期比0.2%増)と前年同期を上回りました。国内スナック菓子は、ポテトチップスが、台風の影響に起因した馬鈴しょ不足により前第1四半期に販売調整を行いました。当期は売上を伸ばしたことが貢献し、増収となりました。海外シリアル食品においては、「フルグラ」の中国向けの販売チャネルの拡大により、売上を伸ばしました。海外スナック菓子は、主にインドネシアや豪州の販売拡大に加え、10月に英国の製菓会社Seabrook Crisps Limitedの事業を買収したことにより、売上が拡大しました。

営業利益は、20,441百万円(前年同期比6.5%増)と前年同期を上回り、営業利益率は10.9%(前年同期比0.6ポイント改善)となりました。国内事業においては、原材料費や物流費の上昇が見られる中、ポテトチップスの売上増加と工場稼働率の回復による原価改善が増益に貢献しました。海外事業においては、北米での廃棄ロス削減と生産性改善による原価低減や、中国向け「フルグラ」の販売拡大による利益の増加が貢献しました。経常利益は、為替差益292百万円等により20,840百万円(前年同期比7.3%増)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は15,019百万円(前年同期比14.9%増)となりました。

	2018年3月期 第3四半期		2019年3月期 第3四半期		伸び率 (%)	現地通貨 ベースの 伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
国内売上高	161,492	86.5	157,290	84.1	△2.6	△2.6
海外売上高	25,198	13.5	29,731	15.9	+18.0	+19.4
合計	186,691	100.0	187,022	100.0	+0.2	+0.4

事業別の売上高は以下のとおりです。

売上高	2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)
① 食品製造販売事業	183,709	184,810	+0.6
国内食品製造販売事業	158,510	155,079	△2.2
国内スナック菓子	129,374	135,757	+4.9
国内シリアル食品	18,409	18,322	△0.5
国内その他食品	10,726	998	△90.7
海外食品製造販売事業	25,198	29,731	+18.0
海外スナック菓子	23,541	25,734	+9.3
海外シリアル食品	1,656	3,997	+141.3
② その他事業	2,982	2,211	△25.8
合計	186,691	187,022	+0.2

① 食品製造販売事業

(国内食品製造販売事業)

・国内スナック菓子

国内スナック菓子の売上高は、前年同期に比べ増収となりました。ポテトチップスの需要増による売上伸長に加えて、新たな素材を使った新商品が増収に貢献しました。一方、小麦系スナックおよびコーン系・豆系スナックは、ポテトチップスの需要増の反動からの回復が弱く、売上が減少しました。

国内スナック菓子の製品別売上高は以下のとおりです。

売上高	2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)
ポテト系スナック	91,914	99,790	+8.6
ポテトチップス	54,880	63,063	+14.9
じゃがりこ	26,536	28,044	+5.7
Jagabee/じゃがポックル	10,498	8,681	△17.3
小麦系スナック	17,052	15,632	△8.3
かっぱえびせん	8,060	7,295	△9.5
サッポロポテト等	8,991	8,337	△7.3
コーン系・豆系スナック	12,954	12,155	△6.2
その他スナック	7,452	8,178	+9.7
国内スナック菓子 計	129,374	135,757	+4.9

- ・ポテト系スナックの売上高は、前年同期に比べ増収となりました。ポテトチップスは、前第1四半期において馬鈴しょ不足から販売アイテムの調整を行った影響と、第1四半期の増量キャンペーン効果等により、「うすしお味」等の定番品および「堅あげポテト」の売上が拡大し、増収となりました。また、個食サイズの新商品「とうもりこ」および「えだまりこ」が、TVコマーシャルの展開とともに全国販売を開始し、「じゃがりこ」は増収となりました。一方「Jagabee/じゃがポックル」は、「じゃがポックル」が堅調に推移したものの、「Jagabee」の定番品の販売不振により減収となりました。
- ・小麦系スナックの売上高は、「かっぱえびせん」の期間限定品のキャンペーンを実施したものの、前期の好調な需要までに至らず、前年同期に比べ減収となりました。
- ・コーン系・豆系スナックの売上高は、当期に発売したジャパンフリトレーの「ドラゴンポテト」が売上に貢献するも、「チートス」等はポテトチップスの需要増の反動からの回復が弱く、前年同期に比べ減収となりました。
- ・その他スナックの売上高は、個食サイズの新商品「miino(ミーノ)」および「極じゃが」が貢献し、前年同期に比べ増収となりました。

・国内シリアル食品

国内シリアル食品の売上高は、前年同期とほぼ横ばいとなりました。国内の新規顧客開拓に向けた「フルグラ」のSサイズや個食用サイズのラインアップの拡充とともに「フルグラ糖質オフ」のリニューアルや期間限定品の投入等を継続的に実施し、また、中国小売店舗向けの需要が拡大した結果、回復基調となりました。

・国内その他食品

国内その他食品の売上高は、ベーカリー事業を4月に譲渡したことから、前年同期に比べ大幅に減収となりました。

(海外食品製造販売事業)

・海外スナック菓子

海外スナック菓子の売上高は、前年同期に比べ増収となりました。欧州においては、10月に英国の製菓会社 Seabrook Crisps Limitedの事業を買収したことにより、大幅に増収となりました。豪州においても、市場参入以来、豆系スナック「Harvest Snaps」の売上の拡大基調が続きました。インドネシアでは、3月から販売開始したコーン系スナック「Krisbee Krunchy」の貢献と、販売促進活動を積極的に行ったポテトチップス「Potabee」の売上拡大により、増収となりました。北米においては、当期よりオーガニック豆を使用した「Harvest Snaps」の販売を開始し拡大を進めるとともに、既存の「Harvest Snaps」の販売促進活動を強化し、増収となりました。一方、韓国では、販売不振が継続し前年同期に比べ減収となりました。

・海外シリアル食品

海外シリアル食品の売上高は、前年同期に比べ大幅に増収となりました。中国向けの「フルグラ」の売上が、国内の生産拠点の拡大とともに、前期に開始した越境Eコマースに加え、当期から開始した中国国内のEコマースにより、拡大しました。

海外食品製造販売事業の地域別売上高は以下のとおりです。

売上高		2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)
北米		7,239	7,323	+1.2
アジア	中華圏	6,313	8,755	+38.7
	韓国	4,089	3,398	△16.9
その他アジア・豪州		6,501	7,741	+19.1
欧州		1,054	2,513	+138.4
海外食品製造販売事業 計		25,198	29,731	+18.0

*1 中華圏：中国、台湾、香港

*2 その他アジア・豪州：タイ、フィリピン、シンガポール、インドネシア、オーストラリア

② その他事業

その他事業には主に物流事業、販売促進ツール関連事業が含まれておりますが、販促物の制作および販売を行うカルネコ株式会社の全株式を9月に譲渡し連結の範囲から除外したことから、前年同期に比べ減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ5,326百万円増加し、197,360百万円となりました。この主な要因は、資金運用のために有価証券を取得し、増加したことによるものです。

負債は、未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末に比べ3,575百万円減少し、41,791百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ8,901百万円増加し、155,569百万円となりました。

この結果、自己資本比率は75.5%となり、前連結会計年度末に比べ2.9ポイント上昇しました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ11,037百万円減少し、31,157百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、主として売上債権の増加額が減少したことにより前年同期と比べ18,147百万円収入が増加し、11,380百万円の純収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の償還による収入の減少および連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が増加したことにより前年同期と比べ8,664百万円支出が増加し、19,170百万円の純支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主として短期借入金の純増額が減少したことにより前年同期と比べ1,667百万円支出が増加し、3,393百万円の純支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間の業績および最近の業績の動向を踏まえ、下記の通り修正いたしました。

海外事業において、主として、大幅な増収を見込んでいた北米やインドネシアでのスナック菓子の販売拡大の進捗が遅れたことや、国内事業において、シリアル食品「フルグラ」の売上の伸び悩みにより、全体として売上高は前回発表予想額を下回る見込みです。営業利益、経常利益に関しても、上述の売上計画未達による影響に加えて、物流費の上昇および食油、包材等の原材料価格の高騰によるコスト上昇を踏まえ、前回発表予想額を下回る見込みです。なお、親会社株主に帰属する当期純利益は、第2四半期において連結子会社の全株式譲渡による特別利益を計上したこと等により、前回発表の予想額から変更はありません。

なお、今回発表予想の前提とした主な為替レートは、1ドル=110.82円です。

(単位：百万円)

	今回発表予想 (A)	前回発表予想 (B)	増減額 (A - B)	増減率 (%)
売上高	249,000	255,000	△6,000	△ 2.4
営業利益	26,900	29,500	△2,600	△ 8.8
経常利益	27,000	29,000	△2,000	△ 6.9
親会社株主に 帰属する当期純利益	19,000	19,000	-	-

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,559	10,518
受取手形及び売掛金	41,749	42,582
有価証券	22,998	33,728
たな卸資産	10,748	12,441
その他	5,323	7,109
貸倒引当金	△23	△7
流動資産合計	104,356	106,372
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,423	28,489
機械装置及び運搬具（純額）	28,171	29,699
土地	11,556	11,376
建設仮勘定	4,523	1,767
その他（純額）	1,421	1,280
有形固定資産合計	73,096	72,613
無形固定資産		
のれん	922	5,749
その他	2,468	2,097
無形固定資産合計	3,391	7,846
投資その他の資産		
投資その他の資産	11,316	10,585
貸倒引当金	△126	△58
投資その他の資産合計	11,190	10,527
固定資産合計	87,678	90,988
資産合計	192,034	197,360

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,728	10,072
短期借入金	1,129	3,823
未払法人税等	5,252	2,654
賞与引当金	3,863	2,708
役員賞与引当金	117	57
株式給付引当金	53	—
その他	15,260	13,117
流動負債合計	35,405	32,433
固定負債		
役員退職慰労引当金	491	287
役員株式給付引当金	90	52
退職給付に係る負債	7,674	7,376
資産除去債務	659	521
その他	1,045	1,120
固定負債合計	9,961	9,357
負債合計	45,366	41,791
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,033	12,043
資本剰余金	4,775	4,786
利益剰余金	123,647	133,044
自己株式	△1,073	△981
株主資本合計	139,383	148,893
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	680	581
為替換算調整勘定	57	88
退職給付に係る調整累計額	△745	△583
その他の包括利益累計額合計	△7	87
新株予約権	7	3
非支配株主持分	7,284	6,585
純資産合計	146,667	155,569
負債純資産合計	192,034	197,360

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	186,691	187,022
売上原価	106,614	103,449
売上総利益	80,076	83,572
販売費及び一般管理費	60,886	63,130
営業利益	19,190	20,441
営業外収益		
受取利息	62	108
受取配当金	40	42
持分法による投資利益	—	3
為替差益	183	292
その他	225	249
営業外収益合計	512	697
営業外費用		
支払利息	58	50
減価償却費	27	71
たな卸資産評価損	—	64
その他	190	111
営業外費用合計	276	298
経常利益	19,426	20,840
特別利益		
固定資産売却益	6	25
投資有価証券売却益	—	33
関係会社株式売却益	—	2,378
事業整理益	—	468
特別利益合計	6	2,905
特別損失		
固定資産売却損	0	10
固定資産除却損	117	131
減損損失	—	813
役員退職慰労金	—	350
関係会社株式売却損	—	24
その他	13	222
特別損失合計	131	1,554
税金等調整前四半期純利益	19,301	22,191
法人税、住民税及び事業税	5,671	6,800
法人税等調整額	648	386
法人税等合計	6,319	7,187
四半期純利益	12,981	15,004
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△86	△14
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,067	15,019

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	12,981	15,004
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	151	△99
為替換算調整勘定	541	77
退職給付に係る調整額	219	162
その他の包括利益合計	912	141
四半期包括利益	13,893	15,146
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,766	15,114
非支配株主に係る四半期包括利益	126	31

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	19,301	22,191
減価償却費	5,921	5,936
減損損失	—	813
のれん償却額	450	520
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△26	△16
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,010	△1,008
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△46	△41
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	△5	△2
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	271	106
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	29	23
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△41	△145
受取利息及び受取配当金	△103	△150
支払利息	58	50
為替差損益 (△は益)	△329	△10
事業整理益	—	△468
持分法による投資損益 (△は益)	—	△3
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△2,387
固定資産売却損益 (△は益)	△5	△14
固定資産除却損	117	131
売上債権の増減額 (△は増加)	△15,233	△1,978
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,540	△1,668
仕入債務の増減額 (△は減少)	193	593
未払金の増減額 (△は減少)	△986	△542
その他	△3,464	△1,364
小計	2,549	20,563
利息及び配当金の受取額	108	125
利息の支払額	△59	△44
法人税等の支払額	△9,364	△9,264
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,766	11,380

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,234	△7,404
有形固定資産の売却による収入	39	225
無形固定資産の取得による支出	△318	△463
無形固定資産の売却による収入	—	0
有価証券の取得による支出	△23,998	△23,825
有価証券の償還による収入	23,000	14,827
投資有価証券の取得による支出	△13	△42
投資有価証券の売却による収入	—	47
貸付けによる支出	△120	△980
貸付金の回収による収入	120	2,378
定期預金の預入による支出	△1,599	—
定期預金の払戻による収入	1,599	264
差入保証金の差入による支出	△66	△69
差入保証金の回収による収入	85	124
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△7,351
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△460
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	3,169
その他	0	389
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,505	△19,170
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,083	2,296
自己株式の取得による支出	△599	—
ストックオプションの行使による収入	17	17
非支配株主からの払込みによる収入	502	—
配当金の支払額	△5,617	△5,618
非支配株主への配当金の支払額	△16	△10
リース債務の返済による支出	△95	△79
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,726	△3,393
現金及び現金同等物に係る換算差額	271	145
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△18,726	△11,037
現金及び現金同等物の期首残高	44,627	42,195
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,900	31,157

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

当社の連結子会社であるCalbee (UK) Ltdは、英国の製菓会社Seabrook Crisps Limitedの事業を買収することを目的として、英国のプライベート・エクイティファンドLloyds Development Capital (Holdings) Limitedおよび個人株主から、Pacific Shelf 1809 Limitedの株式100%を取得する株式売買契約書を締結し、2018年10月2日付で全株式を取得しました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 Pacific Shelf 1809 Limited

事業の内容 有価証券の保有

② 企業結合を行った主な理由

Pacific Shelf 1809 Limitedの連結子会社であるSeabrook Crisps Limitedは、ポテトチップスのSeabrookブランドを有する1945年創業の歴史ある英国菓子メーカーです。欧州最大のスナック菓子市場規模を持つ英国において、その主要カテゴリーであるポテトチップスのブランド買収を通じてカルビーブランドの強化を図るとともに、カルビーグループの欧州事業のさらなる拡大を目指します。

③ 企業結合日

2018年10月2日(株式取得日)

2018年10月1日(みなし取得日)

④ 企業結合の法的形式

株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更ありません。

⑥ 取得した議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の連結子会社であるCalbee (UK) Ltdが現金を対価として取得したことによるものです。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2018年10月1日から2018年12月31日まで

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金 1,361百万円

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 140百万円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん金額

5,843百万円

② 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。

③ 償却方法及び償却期間

15年間にわたる均等償却

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間
(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。